

## 「横浜マラソン2021」におけるボランティア向け新型コロナウイルス感染症対策

「横浜マラソン2021」は日本陸上競技連盟の「ロードレース再開についてのガイダンス」、日本スポーツ協会の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等をもとに、感染症専門家による意見を踏まえた感染症対策を行うとともに、参加するランナー、ボランティアの皆様にも感染防止への協力を呼びかけ、安全・安心なイベント運営を行います。



### 1 ボランティアに参加するにあたっての感染症対策に関する事項

- (1) 本大会の感染症対策や開催判断に伴う取扱いについて了承していただきます。
- (2) 以下の場合、ボランティア参加を辞退していただきます。
  - ①大会当日に発熱症状が認められる（体温37.5℃以上）場合や体調不良の場合。
  - ②大会前1週間から横浜マラソンに関わるスタッフ向けに実施する健康チェックアプリを利用した健康観察について、未入力のある項目がある場合。
  - ③大会前3週間以内に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応がある場合
  - ④大会前2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合。
  - ⑤大会前2週間以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ⑥大会前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (3) 大会終了後2週間についても健康チェックアプリへの入力を行い、新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者に報告し、自治体や保健所等の調査に協力していただきます。
- (4) 大会後に感染症を発症した参加者が発見された場合には、その感染経路の特定に向けた調査に協力していただきます。
- (5) 65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、重症化するリスクが高い旨を認識したうえでご参加いただけます。
- (6) 今後の新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種状況によりませんが、大会当日はワクチンを接種した上ご参加を強く推奨することがあります。

## 「横浜マラソン2021」におけるボランティア向け新型コロナウイルス感染症対策

### 2 感染症対策

- (1) 横浜マラソン健康チェックアプリを活用した健康情報の入力（活動1週間前より）をしていただきます。
- (2) 集合場所での検温、手指消毒の実施及び健康チェックアプリの結果の提示をしていただきます。
- (2) 発熱が確認された場合（体温37.5℃以上）は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会へのボランティア活動参加をお断りさせていただきます。
- (3) 会場内では、必ずマスクを着用する等、感染防止対策にご協力いただきます。大会が求める感染防止対策に従っていただけない場合は、ボランティア参加をお断りする場合があります。
- (4) 会場内ではボランティア同士でも密を避け、他の方と十分な距離をとって活動いただくようお願いします。また、設置してあるアルコール消毒液などをこまめに利用し、咳などをする際は手で口元を覆うなど感染予防に努めてください。
- (5) 休憩中もマスクを着用、会話はなるべく控え、飲食をする場合も短時間で「黙食」いただくことにご協力ください。また、ゴミやマスク等は各自で持ち帰っていただくようお願いします。
- (6) ランナーへの声援はお控えください。また、ハイタッチなど直接ランナーと接触することはお控えいただきます。

### 3 その他

- (1) 本大会のボランティアを含めた運営スタッフは、マスク（ご持参いただきます）の着用を必須とするとともに小型消毒液を配付、必要に応じてフェイスシールド、ビニール手袋、ガウン（雨合羽程度）等を配付し、着用・使用いただきます。
- (2) 本大会は、横浜マラソン健康チェックアプリの利用（必須）の他に、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及び神奈川県LINEコロナお知らせシステムの利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにダウンロードいただきます。（推奨）
- (3) 大会当日における沿道応援は、状況に応じて自粛を促させていただく場合があります。

